



2019年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月9日

上場会社名 サイバネットシステム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4312 URL http://www.cybernet.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 安江 令子
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 高橋 俊之 (TEL) 03-5297-3010
 四半期報告書提出予定日 2019年5月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第1四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	5,140	11.4	664	266.9	680	174.1	406	223.2
2018年12月期第1四半期	4,612	16.0	181	21.7	248	38.7	125	35.3

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 422百万円(—%) 2018年12月期第1四半期 △79百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	13.05	—
2018年12月期第1四半期	4.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第1四半期	19,437	13,018	66.2
2018年12月期	19,215	12,867	66.3

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 12,876百万円 2018年12月期 12,737百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	8.26	—	8.26	16.52
2019年12月期	—	—	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	7.69	—	7.69	15.38

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	1.4	1,520	1.2	1,608	△4.6	958	—	30.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2019年12月期 1 Q	32,076,000株	2018年12月期	32,400,000株
② 期末自己株式数	2019年12月期 1 Q	917,731株	2018年12月期	1,241,731株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2019年12月期 1 Q	31,158,269株	2018年12月期 1 Q	31,158,269株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、役員報酬BIP信託口及び株式付与ESOP信託口が保有していた当社株式 (2018年12月期: 324,000株) を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年12月期 第1四半期決算短信」より、日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、国内売上高は、CAEソリューションサービス事業及びITソリューションサービス事業ともに好調に推移したことにより、前年同期を上回りました。海外売上高は、米国の開発子会社及びアジアの販売子会社が好調に推移いたしました。その結果、連結売上高は前年同期に比べ増収となりました。利益面では、売上高の増加等により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、いずれも前年同期を上回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は51億40百万円（前年同期比11.4%増）、営業利益は6億64百万円（前年同期比266.9%増）、経常利益は6億80百万円（前年同期比174.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億6百万円（前年同期比223.2%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較について、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(CAEソリューションサービス事業)

主力商品のマルチフィジックス解析ツールの新規ライセンス販売は、輸送機器業界等からの受注とエレクトロニクス関連CAEの受注が増加し好調に推移いたしました。保守契約の更新は、従来のオプション機能を標準搭載した新パッケージによる最適化機能やモデリング機能の活用拡大に伴う受注が増加し、好調に推移いたしました。

エンジニアリングサービスは、自動車業界から自動運転及び制御系設計のMBD関連業務の引合いが増加していることに加え、自動車業界及び電機業界からのMBSE関連業務の引合いも増加し、好調に推移いたしました。

WATERLOO MAPLE INC.（カナダ）は、北米は好調に推移いたしましたが、他の地域では低調に推移いたしました。Sigmatix, L.L.C.（米国）は、3次元公差マネジメントツールの販売がすべての地域で好調に推移いたしました。Noesis Solutions NV（ベルギー）は、最適設計支援ツールの販売が、欧州では低調に推移いたしましたが、他の地域では好調に推移いたしました。

莎益博工程系統開発（上海）有限公司（中国）は、主力商品の光学系ソフトウェア及びマルチフィジックス解析ツールの販売が好調に推移いたしました。思渤科技股份有限公司（台湾）は、主力商品の光学系ソフトウェアが低調に推移いたしましたが、マルチフィジックス解析ツールの販売が好調に推移いたしました。CYFEM Inc.（韓国）は、主力商品の光学系ソフトウェアの販売が好調に推移いたしました。2019年3月に事業を開始したCYBERNET SYSTEMS MALAYSIA SDN. BHD.（マレーシア）は、主力商品の光学系ソフトウェアの販売が順調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は41億41百万円（前年同期比6.0%増）、セグメント利益（営業利益）は8億25百万円（前年同期比81.3%増）となりました。

(ITソリューションサービス事業)

主力商品のセキュリティ関連ソリューションは、年間利用型のライセンス更新が好調に推移いたしました。クラウド型シングルサインオン・アクセスコントロールソリューションの新規販売は、製造業界からの受注により好調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は9億99百万円（前年同期比41.6%増）、セグメント利益（営業利益）は1億24百万円（前年同期はセグメント損失10百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、177億82百万円（前連結会計年度末比3億42百万円の増加）となりました。これは主に、現金及び預金の減少14億46百万円、有価証券の増加10億円、短期貸付金の増加6億96百万円によるものです。

固定資産は、16億54百万円（前連結会計年度末比1億20百万円の減少）となりました。これは主に、繰延税金資産の減少1億42百万円によるものです。

この結果、当第1四半期末における総資産は、194億37百万円（前連結会計年度末比2億21百万円の増加）となりました。

(負債)

流動負債は、50億64百万円（前連結会計年度末比91百万円の増加）となりました。これは主に、買掛金の増加2億93百万円、賞与引当金の減少3億91百万円、預り金の増加1億46百万円によるものです。

固定負債は、13億54百万円（前連結会計年度末比20百万円の減少）となりました。

この結果、当第1四半期末における負債合計は、64億18百万円（前連結会計年度末比70百万円の増加）となりました。

(純資産)

当第1四半期末における純資産は、130億18百万円（前連結会計年度末比1億50百万円の増加）となりました。これは主に、自己株式の減少1億56百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の66.3%から66.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループが提供する様々なCAEソリューションサービスは、ものづくり企業の品質向上、開発期間の短縮、開発コスト削減、製品の安全性の向上並びに環境に配慮した製品開発に貢献しております。

経営環境につきましては、米中貿易摩擦による中国市場の減速等世界経済の先行きは不透明となっておりますが、当社グループの主要顧客である製造業の研究開発投資は、先端技術による開発競争の激化などもあり、引き続き堅調に推移していくものと思われま

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,467,886	3,021,496
受取手形及び売掛金	4,570,516	4,921,871
有価証券	4,000,000	5,000,000
商品及び製品	7,370	27,674
仕掛品	29,618	22,408
原材料及び貯蔵品	7,918	8,718
短期貸付金	3,086,576	3,783,363
その他	1,274,269	1,003,077
貸倒引当金	△3,757	△5,902
流動資産合計	17,440,398	17,782,706
固定資産		
有形固定資産	299,295	301,546
無形固定資産		
その他	322,466	299,257
無形固定資産合計	322,466	299,257
投資その他の資産		
投資有価証券	1,711	1,735
その他	1,192,893	1,094,258
貸倒引当金	△41,089	△42,435
投資その他の資産合計	1,153,516	1,053,558
固定資産合計	1,775,278	1,654,362
資産合計	19,215,677	19,437,069

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,391,972	1,685,369
未払法人税等	161,028	155,817
賞与引当金	553,745	161,833
役員賞与引当金	27,540	9,600
前受金	1,995,394	2,025,184
その他	843,307	1,026,502
流動負債合計	4,972,988	5,064,305
固定負債		
退職給付に係る負債	1,327,370	1,319,442
その他	47,663	35,074
固定負債合計	1,375,033	1,354,517
負債合計	6,348,022	6,418,823
純資産の部		
株主資本		
資本金	995,000	995,000
資本剰余金	909,000	909,000
利益剰余金	11,543,732	11,533,918
自己株式	△734,142	△577,650
株主資本合計	12,713,590	12,860,268
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	23,755	15,847
その他の包括利益累計額合計	23,755	15,847
非支配株主持分	130,308	142,129
純資産合計	12,867,654	13,018,245
負債純資産合計	19,215,677	19,437,069

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
売上高	4,612,833	5,140,517
売上原価	2,848,087	3,043,148
売上総利益	1,764,745	2,097,369
販売費及び一般管理費	1,583,739	1,433,329
営業利益	181,006	664,040
営業外収益		
受取利息	4,154	4,679
為替差益	17,876	121
助成金収入	43,353	10,124
その他	2,020	1,572
営業外収益合計	67,405	16,496
営業外費用		
売上割引	—	1
その他	117	24
営業外費用合計	117	26
経常利益	248,295	680,510
税金等調整前四半期純利益	248,295	680,510
法人税、住民税及び事業税	7,280	107,492
法人税等調整額	90,272	141,216
法人税等合計	97,552	248,708
四半期純利益	150,742	431,802
非支配株主に帰属する四半期純利益	24,915	25,080
親会社株主に帰属する四半期純利益	125,826	406,721

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	150,742	431,802
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△230,132	△8,955
その他の包括利益合計	△230,132	△8,955
四半期包括利益	△79,390	422,846
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△100,251	398,813
非支配株主に係る四半期包括利益	20,860	24,033

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社は、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。